

# JAB 食品試験所になぜ 認定が必要なので しょうか？

ISO/IEC  
17025

## 食品の分析を依頼するとき、 何を基準に試験所を選定していますか？

顧客の試験への要求を満たすためには、正確で信頼できる試験結果が得られることを確実にする必要があります。そのためには、試験所が「適切な試験施設」「適切な品質保証手段」「正確な試験手順」など数多くの要因に対し技術能力を有していることを確認しなければなりません。

JABは国際規格ISO/IEC 17025に基づき、第三者として試験所を審査し、認定を行っています。ISO/IEC 17025の認定を取得することで、試験所として国際的に認められた技術能力を有している公平な証拠となり、国内外の顧客に対して高い信頼性を証明することが可能となります。

### ① 食品の安全確保

#### 食品等事業者に対し HACCP に沿った 衛生管理の実施が義務化

食品衛生法等の一部を改正する法案が公布されました。2018年（平成30年）法律第46号原則として、すべての食品等事業者に対し、一般衛生管理に加え、HACCP に沿った衛生管理の実施を求められています。



#### ドーピング対策 — サプリメント中の禁止薬物検査 —

近年、国際的なスポーツ大会におけるドーピング検査で陽性となるケースが増加しており、検査結果の信頼性確保のため、ISO/IEC 17025 認定試験所による検査のニーズが高まっています。



### ② GAP (Good agricultural Practice) 支援

ASIAGAP 農場用 管理点と適合基準 (日本GAP協会) の中で、「残留農薬、水質、重金属類、微生物、放射性物質等の食品安全に関する検査を行う機関は、該当する分野で ISO/IEC 17025 の適用される要求事項に沿って実施していることを確認している。」とあります。分析機関の ISO/IEC 17025 規格要求事項への適合性は、JABによる審査にて客観的に評価された「認定試験所」であることで判断できます。



### ③ 輸出への対応・分析

輸出時に相手先からISO/IEC 17025認定試験所で分析した試験結果を求められるケースが、EU域内、アジア域内と広がっています

#### 1. 輸出食品中の有害化学物質の分析

青果物や畜水産物など各食品に使用可能な農薬・動物医薬品の種類や、食品中に残留する農薬・動物医薬品の残留基準値は、輸出先国・地域と日本とで異なるため、輸出先に合わせた確認が必要となります。他食品、有害化学物質についても同様です。



#### 2. 食品栄養成分の分析

輸出国ごとに、食品への表示が求められる成分項目（表示義務のある成分項目）は異なり、同じ成分項目であっても指定された分析方法や算出方法が異なる場合があります。

#### 3. 輸出食品等に対する放射性物質分析

原子力発電所事故を受けて、日本から輸出される食品等について放射性物質に関する分析等を要求する国・地域があります。輸出先国・地域によっては認められている試験所（ISO/IEC 17025認定試験所や行政機関に属する検査機関など）での分析が必要となる場合があります。

### フレキシブル認定

認定を受けた範囲内であれば、事前の審査を受けることなく自己の裁量により試験の範囲を追加変更できる仕組みです。顧客の要望に迅速かつ柔軟に対応でき、顧客のビジネスチャンスに大きく貢献し、win-winの関係を構築します。また、試験所には従来の審査や手続きにかかる時間やコストを抑えることができるというメリットがあります。



公益財団法人  
日本適合性認定協会  
Japan Accreditation Board

<https://www.jab.or.jp/>

JAB



Webサイト



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

JABIは、認定サービスを通じて持続可能な開発目標の達成を支援しています。